第1学年　特別活動（学級活動）指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　時　平成30年６月11日（月）　２校時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　児　童　花巻市立若葉小学校　１年２組

　　　（男13名　女14名　計27名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　Ｔ１　教諭

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｔ２　栄養教諭

**１　題材名　「野菜となかよし」**

活動内容（2）「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

　　　　　　　　エ　「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」

**２　児童の実態と題材について**

1. 児童の実態

本学級の児童は、学習にまじめに取り組んでおり、とても落ち着きがある。入学してまだ２ヶ月足らずということもあり、学級の中には緊張感もやや残っているが、少しずつ友達も増えてきて、教室では楽しそうな声が多く聞こえる。自己紹介やペア学習では、自分から進んで話す児童もいるが、自分から話しかけるのが難しかったり、自分の気持ちや意見を相手に伝えられなかったりと、話す活動に対して消極的な児童も少なくない。

給食に関しては、どの児童も食べ物に興味を持ち、毎日の給食を楽しみにしている。食事中の様子を見ると好きなものはおかわりをして食べている反面、嫌いなものは進んで食べようとしない傾向が見られる。一切手をつけなかったり、初めて食べる物や見た目で判断して嫌だと感じた物は、残したりする児童も多い。

そこで給食に関するアンケートを行ったところ、「給食は好きですか」に対し、「はい」と答えた児童は２７人中２６人と、ほとんどの児童が好きと答えた。また、「苦手なものはありますか」に対し、「はい」と答えた児童は２１人と、半分以上の児童が苦手な食べ物があると答えた。その中で苦手な食べ物をみると、野菜類が最も多かった。主に嫌いな野菜は、ゴーヤ、セロリ、なす、グリンピースなどであり、色の濃いものを苦手とする児童が多い。

1. 題材設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領特別活動（学級活動）の（２）「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」のエ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に関わるものである。

題材設定の理由としては、野菜嫌いな児童が多いことがアンケートや給食の様子から分かったので、健康によい食事のとりかたとして、嫌いな物でも自分のために「がんばって食べてみよう」という気持ちを培いたいと考えた。1年生として始まったばかりだが、小学校生活の基盤となる今を大事にしていきたい。また、普段「話すこと」に苦手意識を持っている児童らにペア学習を通して、「友達と話すことは楽しい」という気持ちも持ってほしいと考えた。

（３） 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に着目して進めたい。一点目は、児童の実態をよく観察しておくことである。どの児童が何を苦手としているのかを把握していないと、給食で「頑張って食べよう」と意欲を持てたかどうかが分からないからである。普段の給食の様子や、アンケートの結果を参考にしながら、観察していきたい。二点目は、野菜の栄養素についても発達段階に応じて教えたいということである。児童らが、「この野菜は食べなくても平気」、「自分の身体には必要ない」などといった考えにならないように、栄養教諭と綿密に情報交換を行いながら計画を進めていきたい。子ども達が「この野菜を食べるともっと元気になれるから、苦手な野菜でも少しでも頑張ってみよう」という気持ちになれるような活動としていきたい。三点目は、ペア学習についてである。題材設定の理由でも述べたように、学級の実態としてペアで話すことがあまり得意ではない児童が多いように感じる。積極的に話せるようになってほしい。そこで自分の考えではなく、野菜の役割を教えるという活動を通してペアや様々な人と話し、「話すことは楽しい」と感じてもらいたい。今後どの教科でもペア学習、全体交流で積極的に色々な人と話ができるようにしたいと考える。

　 また、本学習では興味を持たせる手立てとして他教科との関連にも力を入れている。例えば、本時の導入で使われる「苦手な食べ物ランキング」では、算数科の「なかまづくりとかず」の単元で学習した際に出てきたものと同じ形態にしている。読み聞かせについても、「学校図書館の利用」が６月から始まっているので、少しでも絵本に興味を持ってほしいという願いもある。

（４） 評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活への知識・理解 |
| 野菜に興味を持ち、進んで絵本の読み聞かせを聞いたり、野菜の紹介に取り組んだりしている。 | 絵本の読み聞かせを楽しく聞いたり、ペアの児童と仲良く活動したりしている。 | いろいろな野菜を食べることが、自分の健康に繋がることを理解している。 |

（５）指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　時 | 活　　　動 | 教師の指導・支援 | 学習評価 |
| ５月18日  （朝の会） | 「きゅうしょくアンケート」１回目 | ひらがなが読めないため、全員で１つずつ確認する。 |  |
| ５月23日  （２校時  学活） | 「きゅうしょくアンケート」２回目 | 知らない野菜がある児童がいるため、写真を見せながら１つ１つ確認していく。 | 食べ物について興味を持ち、アンケートに答えることができる。 |
| ５月23日  （２校時  　　学活） | 絵本「やさいのがっこう　とまとちゃんのたびだち」読み聞かせ | 野菜に興味をもたせるため、絵本「やさいのがっこう」の読み聞かせを行う。 | 野菜について興味を持つことができる。（観察） |
| 教室提示 | 野菜クイズ（野菜の名前当てクイズを掲示） | 写真を見て、野菜の名前が分かるようにする。 |  |
| ６月11日  （本時） | 野菜の役割について知り、今後の食生活につなげる。 | ペア学習がスムーズにできるよう絵や写真等を活用し、視覚的に支援する。 | 野菜の役割を紹介し合ったり、今後の食生活について考えたりすることができる。（観察） |
| ６月11日  （給食時間） | 野菜中心の給食を食べる。 | 野菜の役割を思い出させ、声がけを  する。 | 苦手な食べ物も、一口は食べようとしている。（観察） |
| 今後の給食時間 |  | 本時で学習したことを思い出せるように給食で出てくる野菜カードを提示し、野菜の効果を思い出せるようにする。 | 苦手な食べ物も、一口は食べようとしている。（観察） |

**３　食育の視点**

野菜の役割や大切さを知り、健康な身体をつくるため、苦手な物でも一口は食べようという意欲を

もつことができる。[心身の健康、食品を選択する能力]

**４　本時の学習**

（１）本時のねらい

野菜の役割や大切さを知り、健康な身体をつくるため、苦手な物でも一口は食べようという意欲を

　　　もつことができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容と学習活動 | 教師の支援（○評価） |
| 導  入  ５  分 | １　事前のアンケートから、苦手な食べ物ランキングを把握する。  ２　給食中に野菜を減らしている児童の写真や残飯の写真をみて、苦手な人が多いことを理解する。  ３　課題を確認する。  野菜と仲良くなろう | ・算数で学習した際に出てきた絵グラフを使って、苦手な食べ物を予想させ、興味を持たせる。  ・写真だけを見せ、どんな時の写真なのか問いかける。 |
| 展  開  30分 | ４　野菜の紙芝居を聞き、野菜の役割について知る。  ５　栄養教諭から話を聞き、野菜の大切な役割について知る。  ６　野菜カードの中から野菜を選び、隣の人と野菜を食べた時の役割を紹介し合う。（ペア学習）  ・「わたしはトマトです。わたしを食べると、怪我を早く治すよ。」  ７　野菜カードの中から１つ選び、自分と違う野菜の人と野菜の役割を紹介し合う。（全体交流） | ・児童が聞きやすいようにゆっくり読むように心掛ける。  ・教師が手本を見せる。  ・班ごとにカードセットを置き、いろいろな野菜で役割を紹介できるようにする。  ・自分から話すのが苦手な児童やひらがなが苦手な児童に対しては、一緒に話したり、声がけをしたりして支援する。 |
| 終末  ５  分 | ８　今日の学習の振り返りをする。  ・「野菜のことが分かった」  ・「野菜と仲良くなれた」  ・「頑張って食べてみようと思った」  どうやって苦手なものを食べる？  （これからの行動）  ・牛乳を飲んでから食べる。  ・好きな物と一緒に食べる。  ・食べられそうと思いながら食べる。  ９　今日の給食の献立を確認する。  ・仲良くなった野菜達が給食に登場することを知る。 | **○野菜の役割や大切さを知り、健康な身体をつくるため、苦手な物でも一口は食べようという意欲をもつことができる。（観察）**  ・野菜の大切さについて確認し、今後の給食や、家庭での食事で苦手な物でも食べようとする意欲を高める。 |  |

絵本「やさいのがっこう　とまとちゃんのたびだち」

作者　なかや　みわ

出版社　白泉社

○あらすじ

絵本の舞台は「やさいの学校。」そこには、おいしい野菜になるために、いろいろな野菜たちが通っています。とまとちゃんも、そのひとり。まわりの野菜たちは、次に学校を卒業するのはとまとちゃんだと言うけれど、頭のてっぺんが青くて、まだ、卒業することはできません。早く八百屋さんに並びたいとまとちゃんは、赤くなるために日光浴をすることにしました。でも、あいにく天気は曇り空…。おひさまの光を浴びないと、まっかになれないとまとちゃん。色々な方法を試しますが、中々八百屋さんのトラックのお迎えがきません。そこで時間をかけて待つことにしたトマトちゃん。時間をたっぷりかけて真っ赤なトマトになることができました。無事にお迎えがきて、八百屋さんに並ぶことができました。